

平成21年度 全国学力・学習状況調査

宮城県の調査結果報告

目 次

I	平成21年度全国学力・学習状況調査の概要	P1
1	調査の目的	
2	調査の対象学年	
3	調査の内容	
4	実施日	
5	調査を実施した公立学校数及び児童生徒数	
6	教科に関する調査結果の全体の概要	
II	各教科の調査の結果	P3
1	小学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
2	小学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
3	小学校（算数） 主として「知識」に関するA問題	
4	小学校（算数） 主として「活用」に関するB問題	
5	中学校（国語） 主として「知識」に関するA問題	
6	中学校（国語） 主として「活用」に関するB問題	
7	中学校（数学） 主として「知識」に関するA問題	
8	中学校（数学） 主として「活用」に関するB問題	
III	児童生徒質問紙調査結果	P19
IV	学校質問紙調査結果	P21
V	今後の対策等	P23
1	各教科の指導改善のポイント	
2	今後の対応	

I 全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

- (1) 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象学年

小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 (国語A，算数・数学A)	①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ②実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 (国語B，算数・数学B)	①知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ②様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査 (児童生徒質問紙調査)	小中とも 77問	学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査
学校に対する調査 (学校質問紙調査)	小学校：108問 中学校：105問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

4 実施日 平成21年4月21日(火)

5 調査を実施した公立学校数及び児童生徒数

(1) 小学校調査

参加学校数	児童数
445校	20,871人

(2) 中学校調査(後日実施校5校は含まない)

参加学校数	生徒数
215校	20,286人

6 教科に関する調査結果の全体の概要

(1) 20年度と比べ、小・中学校のほとんどの教科で全国の平均正答率が高くなっており（文部科学省見解）、本県も同様の傾向となっている。

(2) 小学生の結果について

○ 「知識」に関するA問題について

国語の平均正答率は67.4%で、全国平均を2.5ポイント下回っている。
算数の平均正答率は77.5%で、全国平均を1.2ポイント下回っている。
国語・算数ともに全国平均を下回る結果となっている。

○ 「活用」に関するB問題について

国語の平均正答率は49.8%で、全国平均を0.7ポイント下回っている。
算数の平均正答率は54.0%で、全国平均を0.8ポイント下回っている。
国語・算数ともに全国平均を下回る結果となっている。

(3) 中学生の結果について

○ 「知識」に関するA問題について

国語の平均正答率は78.1%で、全国平均を1.1ポイント上回っている。
数学の平均正答率は62.1%で、全国平均を0.6ポイント下回っている。
国語は全国平均を上回り、数学は全国平均を下回る結果となっている。

○ 「活用」に関するB問題について

国語の平均正答率は76.4%で、全国平均を1.9ポイント上回っている。
数学の平均正答率は57.7%で、全国平均を0.8ポイント上回っている。
国語・数学ともに全国平均を上回る結果となっている。

宮城県と全国の平均正答率一覧表

	「知識」に関するA問題				「活用」に関するB問題					
	問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較	問題数	全国平均正答率	宮城県平均正答率	全国平均との比較		
小学校	国語	H21	18	69.9	67.4	-2.5	10	50.5	49.8	-0.7
		H20	18	65.4	64.2	-1.2	12	50.5	49.2	-1.3
		H19	18	81.7	80.6	-1.1	10	62.0	61.0	-1.0
	算数	H21	18	78.7	77.5	-1.2	14	54.8	54.0	-0.8
		H20	19	72.2	71.3	-0.9	13	51.6	50.4	-1.2
		H19	19	82.1	81.1	-1.0	14	63.6	61.4	-2.2
中学校	国語	H21	33	77.0	78.1	+1.1	11	74.5	76.4	+1.9
		H20	34	73.6	73.8	+0.2	10	60.8	61.8	+1.0
		H19	37	81.6	80.8	-0.8	10	72.0	71.0	-1.0
	数学	H21	33	62.7	62.1	-0.6	15	56.9	57.7	+0.8
		H20	36	63.1	61.4	-1.7	15	49.2	49.1	-0.1
		H19	36	71.9	70.3	-1.6	17	60.6	59.4	-1.2

II 各教科の調査の結果について

1 小学校国語A問題

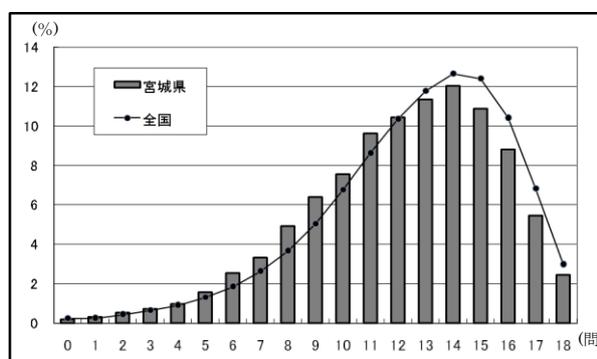
(1) 結果の概要

- 平均正答率は67.4%であり、全国平均を2.5ポイント下回り、全国平均とのかい離は20年度よりも1.3ポイント大きくなっており、課題が見られる。
- 「漢字の読み・書き」や「ローマ字の読み・書き」「文字の形、大きさ、配列」など、言語事項に関する基礎的・基本的な知識・理解に課題が見られる。

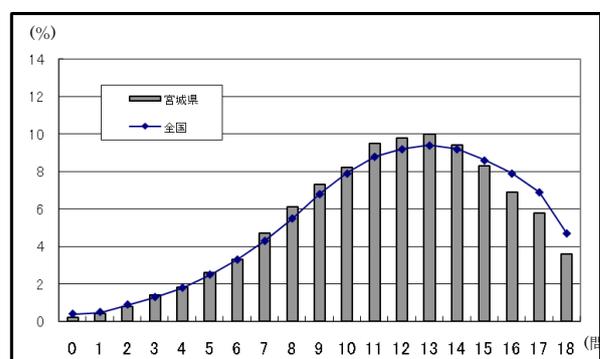
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 今年度は、20年度と同様に、80%（14問）以上正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られ、全国とのかい離はやや大きくなっている。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 「書くこと」の領域の平均正答率は84.9%であり、全国平均に近づいてきたものの、全ての領域では、全国平均を下回る結果となっており課題が見られる。特に「言語事項」は、全国平均よりも3.3ポイント下回った。

領域	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			言語事項			合計		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19
宮城県平均正答率(%)	65.2	76.4	54.5	84.9	50.7	83.3	67.2	44.1	67.0	60.9	64.0	86.0	67.4	64.2	80.6
全国平均正答率(%)	68.0	76.1	56.6	85.4	53.3	85.3	68.7	44.5	67.3	64.2	65.2	86.8	69.9	65.4	81.7
全国との比較	-2.8	+0.3	-2.1	-0.5	-2.6	-2.0	-1.5	-0.4	-0.3	-3.3	-1.2	-0.8	-2.5	-1.2	-1.1
対象設問数	1	2	2	4	4	1	2	2	3	12	15	13	19	23	19
全国平均正答率を上回った問題数	0	1	1	2	0	0	0	1	1	1	4	4	3	6	6
全国平均正答率を下回った問題数	1	1	1	2	4	1	2	1	2	11	11	9	16	17	13

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと

- ◆ 話し合いにおける司会者の進め方の良いところを説明する問題の正答率は65.2%であり、全国平均を2.8ポイント下回った。[7]

書くこと

- ◇ 文章の内容に合わせて小見出しをとらえる問題の正答率は95.2%であり、全国平均を0.5ポイント上回った。〔4イ〕
- ◆ はがきの表書きに必要な事柄を正しい順序で書くことの問題の正答率は65.4%であり、全国平均を1.6ポイント下回った。〔3〕

読むこと

- ◆ 文学的な文章の表現の工夫をとらえることの問題の正答率は57.0%であり、全国平均を1.7ポイント下回った。〔5〕

言語事項

- ◆ 「漢字の読み・書き」「ローマ字の読み・書き」「書写」等のほぼ全ての設問で全国平均を下回り、特に「運ぶ」という漢字を書く問題の正答率は73.8%であり、全国平均を6.8ポイント下回った。〔1-(2)(3), 1二(1)(2)(3), 2_1 2 3, 5, 8, 9〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)		
1-(1)	漢字を読む(駅は混雑している)				○	○		95.4	2.2	95.2	2.2	0.2	0.0
1-(2)	漢字を読む(春から夏へ季節が移る)				○	○		88.6	2.3	91.1	1.7	-2.5	0.6
1-(3)	漢字を読む(めずらしい植物を採集する)				○	○		75.7	3.3	80.0	2.7	-4.3	0.6
1二(1)	漢字を書く(びょういんに行く)				○	○		72.5	7.7	76.1	5.9	-3.6	1.8
1二(2)	漢字を書く(人の意見に <u>さんせい</u> する)				○	○		74.7	10.9	78.3	8.7	-3.6	2.2
1二(3)	漢字を書く(重い石を <u>はこぶ</u>)				○	○		73.8	15.4	80.6	10.1	-6.8	5.3
2_1	ローマ字で書く(くすり)				○	○		66.6	14.0	69.4	11.8	-2.8	2.2
2_2	ローマ字で書く(たべもの)				○	○		41.8	22.8	45.5	19.2	-3.7	3.6
2_3	ローマ字を読む(happa)				○	○		48.8	34.1	51.9	29.3	-3.1	4.8
3	はがきの表書きに必要な事柄を選択する		○			○		65.4	0.2	67.0	0.3	-1.6	-0.1
4ア	実験報告文の小見出しとして適切なものを選択する		○			○		84.7	0.6	86.1	0.8	-1.4	-0.2
4イ			○			○		95.2	0.7	94.7	0.8	0.5	-0.1
4ウ			○			○		94.4	0.8	93.9	0.9	0.5	-0.1
5	文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する			○	○	○		57.0	0.6	58.7	0.7	-1.7	-0.1
6	図鑑を読んで必要な内容をとらえる			○		○		77.5	5.6	78.7	4.9	-1.2	0.7
7	司会の進め方の良いところを説明する	○				○		65.2	17.3	68.0	15.2	-2.8	2.1
8	接続語を使って一文を二文に分けて書く				○	○		12.1	34.6	14.7	30.2	-2.6	4.4
9	毛筆の下書きについて書き直す内容を書く				○	○		24.2	37.8	29.0	33.3	-4.8	4.5

2 小学校国語B問題

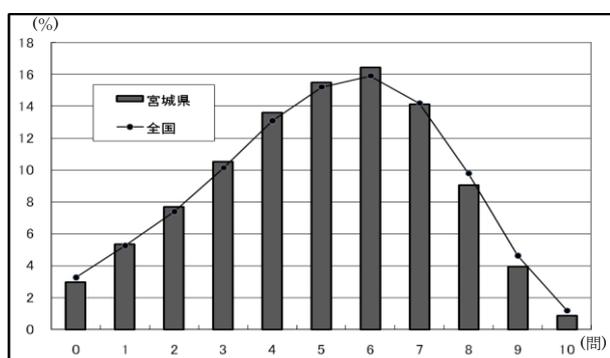
(1) 結果の概要

- 平均正答率は49.8%であり、全国平均を下回っているが、全国平均とのかい離が20年度と比較して0.6ポイント小さくなり、やや改善が見られる。
- 「話すこと・聞くこと」の領域では、説明のための情報を整理することについて概ね身に付けているものの、「書くこと」「読むこと」の領域については、書く事柄を整理して自分の考えを書いたり、筆者の考えをとらえたりすることなどに課題が見られる。

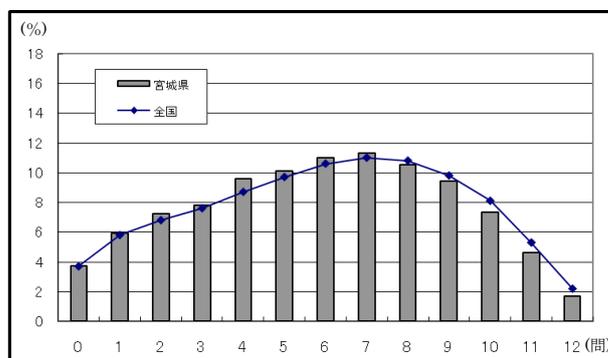
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は、全国の傾向と同様であり、40%～80%（4問～7問）の児童の割合が20年度（5問～8問）に比べ増加傾向にある。
- 80%（8問）以上正答した児童の割合は、20年度（9問以上）と同様全国に比べ低い。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 全ての領域において、全国平均を下回る結果となっている。中でも「書くこと」の領域は、全ての設問で全国平均を下回り、全国平均とのかい離も20年度と比べ大きくなっている。
- 「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の2領域は、20年度と比べかい離が小さくなり、全国平均に近づいてきている。

領域	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			言語事項			合計		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19
宮城県平均正答率 (%)	61.1	72.7	67.6	12.7	48.0	60.5	55.6	46.6	56.5	58.5	79.4	49.8	49.2	61.0	
全国平均正答率 (%)	61.3	73.0	70.9	14.5	49.1	61.7	56.5	48.3	57.7	59.7	77.0	50.5	50.5	62.0	
全国との比較	-0.2	-0.3	-3.3	-1.8	-1.1	-1.2	-0.9	-1.7	-1.2	-1.2	+2.4	-0.7	-1.3	-1.0	
対象設問数	5	2	2	2	8	4	3	8	7	2	1	12	18	14	
全国平均正答率を上回った問題数	2	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	2	3	2	
全国平均正答率を下回った問題数	3	1	2	2	6	3	2	8	6	2	1	9	15	12	

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと

- ◇ 自分の立場や意図を明確にして発表する問題の正答率は26.4%であり、全国平均を0.7ポイント上回った。[2二]
- ◇ 資料から必要な情報を取り出し整理する問題の正答率は86.9%であり、全国平均を0.8ポイント上回った。[4一]

- ◆ 話の組立てを工夫しながら図を使って説明する問題の正答率は55.8%と61.1%であり、全国平均を1.5ポイント、0.9ポイント下回った。〔4ニアイ〕

書くこと

- ◆ 報告文を書くために必要な事柄を整理する問題の正答率は9.9%であり、全国平均を1.5ポイント下回った。〔1ー〕
- ◆ 調べて分かった結果と調べた理由を関係付けて書く問題の正答率は15.5%であり、全国平均を2.2ポイント下回った。〔1二〕

読むこと

- ◇ 筆者の表現の工夫に着目して読む問題の正答率は56.1%であり、全国平均と同じであった。〔3ー〕
- ◆ 筆者の考えをとらえ筆者の考えに合わせて書き換える問題の正答率は62.4%と48.4%であり、全国平均を0.2ポイント、2.5ポイント下回った。〔3二(1)(2)〕

設問番号	設問の概要	領域				問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1ー	報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く		○				○		9.9	21.4	11.4	20.8	-1.5	0.6
1二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く		○				○		15.5	13.2	17.7	12.6	-2.2	0.6
2ー	話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける	○				○			75.4	2.9	75.5	3.0	-0.1	-0.1
2二	「そうじゃ整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	○					○		26.4	11.6	25.7	11.7	0.7	-0.1
3ー	説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する			○		○			56.1	7.3	56.1	8.8	0.0	-1.5
3二(1)	筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く			○			○		62.4	11.2	62.6	11.7	-0.2	-0.5
3二(2)				○			○		48.4	16.4	50.9	16.4	-2.5	0.0
4ー	作戦カードをもとに、ボールを渡す順番を整理する	○					○		86.9	6.3	86.1	6.9	0.8	-0.6
4ニア	作戦カードをもとに、チームの攻め方を説明する	○			○		○		55.8	13.4	57.3	13.4	-1.5	0.0
4ニイ		○			○		○		61.1	16.2	62.0	15.8	-0.9	0.4

3 小学校算数A問題

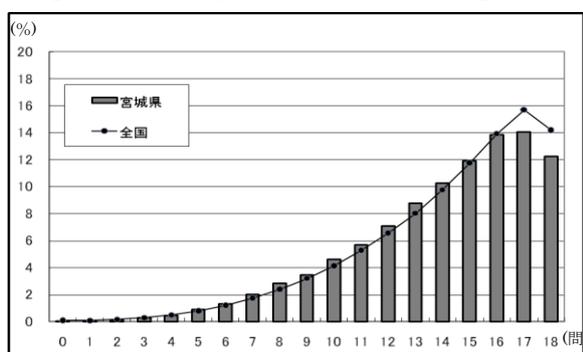
(1) 結果の概要

- 平均正答率が77.5%であり、全国平均を1.2ポイント下回り、全国平均とのかい離は20年度よりも0.3ポイント大きくなっており、課題が見られる。
- 「数と計算」領域においては整数、小数、分数の基本的な四則計算は概ね身に付いているものの、偶数や概数の意味理解には課題が見られる。

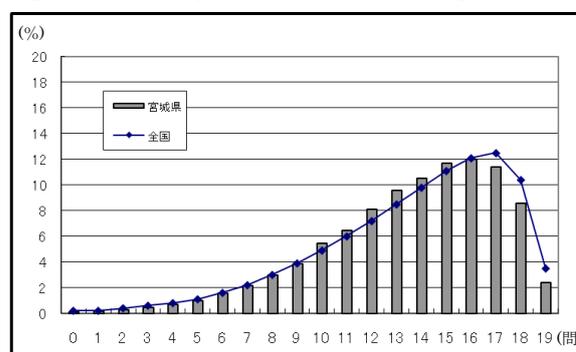
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は、全国の傾向と同様であるが、20年度と比べて正答率の高い児童の割合が多くなっている。
- 今年度は20年度と同様に90%（17問）以上正答した児童の割合が全国と比べて低い状況が見られ、全国とのかい離がやや大きくなっている。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 全ての領域の平均正答率は全国平均をやや下回る結果となっているものの、「図形」「数量関係」の領域では、全国平均とのかい離が20年度と比べるとやや小さくなっている。

領域	数と計算			量と測定			図形			数量関係			合計		
	H21	H20	H19												
宮城県平均正答率 (%)	81.2	76.2	79.6	77.4	56.1	85.1	81.1	71.6	86.3	63.0	69.8	74.0	77.5	71.3	81.1
全国平均正答率 (%)	82.8	76.8	81.5	78.5	56.2	86.1	81.3	72.7	86.1	64.2	72.4	75.4	78.7	72.2	82.1
全国との比較	-1.6	-0.6	-1.9	-1.1	-0.1	-1.0	-0.2	-1.1	+0.2	-1.2	-2.6	-1.4	-1.2	-0.9	-1.0
対象設問数	9	10	11	3	3	3	3	3	2	3	3	4	18	19	20
全国平均正答率を上回った問題数	4	4	3	0	1	1	2	2	1	0	1	1	6	8	6
全国平均正答率を下回った問題数	5	6	8	3	2	2	1	1	1	2	2	3	11	11	14

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

数と計算

- ◇ 整数の乗法、除法の計算問題の正答率は86.2%、96.0%であり、全国平均をいずれも0.6ポイント上回った。[1-(2)(3)]
- ◆ 偶数や概数の意味理解の問題の正答率は71.4%、70.5%であり、全国平均をいずれも6ポイントと5.3ポイント下回った。[2-(3)(4)]

量と測定

- ◆ 長さの感覚を身に付けているかをみる問題の正答率は88.3%であり、全国平均を1.5ポイント下回った。[3]

- ◆ 分度器の目盛りを読む問題の正答率は77.3%であり、全国平均を1.5ポイント下回った。〔4〕

図形

- ◇ 四角形の4つの角の大きさの和を求める問題の正答率は69.0%であり、正答率が全国平均を1.1ポイント上回った。〔5-(1)〕
- ◆ 長方形や直角三角形の定義や性質の理解の問題の正答率は81.7%であり、全国平均を1.7ポイント下回った。〔5-(2)〕

数量関係

- ◆ 資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表す問題の正答率は65.7%であり、全国平均を3.1ポイント下回った。〔8〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離	
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)			無解答率(%)
1 (1)	153+49 を計算する	○				○			95.5	0.1	95.1	0.1	0.4	0.0
1 (2)	725×8 を計算する	○				○			86.2	0.3	85.6	0.5	0.6	-0.2
1 (3)	204÷4 を計算する	○				○			96.0	0.7	95.4	1.0	0.6	-0.3
1 (4)	48.1÷1.3 を計算する	○				○			80.6	3.5	80.4	3.9	0.2	-0.4
1 (5)	7/6-2/6 を計算する	○				○			97.7	0.3	97.8	0.3	-0.1	0.0
1 (6)	80-30÷5 を計算する				○	○			66.4	1.1	66.8	1.3	-0.4	-0.2
2 (1)	数直線上に示された1万より大きい数を読み取る	○				○			61.9	0.7	64.1	0.6	-2.2	0.1
2 (2)	100 を45個集めた数を書く	○				○			70.8	0.5	73.3	0.7	-2.5	-0.2
2 (3)	74291 を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	○				○			70.5	0.6	75.8	0.8	-5.3	-0.2
2 (4)	整数の中から偶数を選ぶ	○				○			71.4	1.3	77.4	1.1	-6.0	0.2
3	千円札を長方形とみると、長い方の辺はどれくらいの長さか選ぶ		○			○			88.3	0.4	89.8	0.4	-1.5	0.0
4	90度より大きい角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読む		○			○			77.3	0.3	78.8	0.4	-1.5	-0.1
5 (1)	四角形を1本の対角線で2つの三角形に分けたときの、四角形の4つの角の大きさの和を求める式を書く			○		○			69.0	10.0	67.9	10.3	1.1	-0.3
5 (2)	長方形を1本の対角線で切ったときにできる図形の名前を選ぶ			○		○			81.7	1.2	83.4	1.4	-1.7	-0.2
5 (3)	平行四辺形の2つの辺の長さが10cm, 8cm のとき、指示された辺の長さを答える			○		○			92.7	1.4	92.6	1.6	0.1	-0.2
6	方眼上の三角形の面積を求める式を書く		○			○			66.8	7.0	66.9	8.0	-0.1	-1.0
7	200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か選ぶ				○	○			56.9	1.2	56.9	1.5	0.0	-0.3
8	表に当てはまる資料の個数を答える				○	○			65.7	3.8	68.8	3.6	-3.1	0.2

4 小学校算数B問題

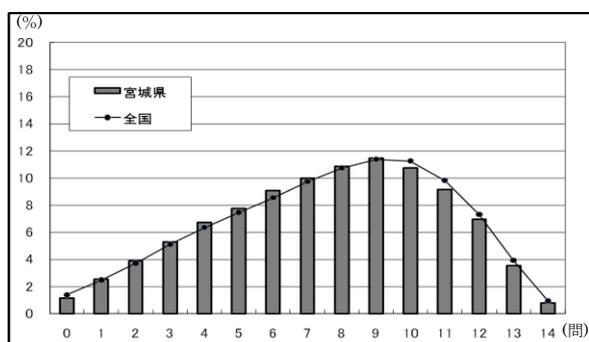
(1) 結果の概要

- 平均正答率が54.0%であり、全国平均を0.8ポイント下回っているものの、全国平均とのかい離は20年度よりも0.4ポイント小さくなっており、やや改善が見られる。
- 「数量関係」のグラフの読み取りについては身に付いてきているが、グラフから読み取ったことを「数と計算」の知識を生かして概数で見積もることには課題が見られる。
- 「図形」では図形の性質を生かして長さや面積を考慮することや、「量と測定」では重さや面積の知識を活用して実験などの結果を考察することについて課題が見られる。

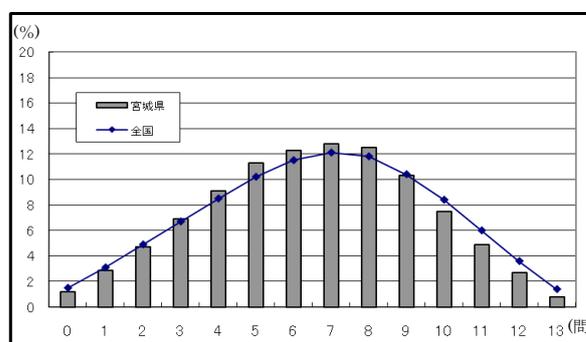
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国とほぼ同様の傾向が見られる。
- 20年度は、80%（10問）以上正答した児童の割合が低く、全国とのかい離が大きかったが、今年度は、80%（11問）以上正答した児童の割合が全国に比べてやや低いものの、全国とのかい離は小さくなっている。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 「数と計算」「量と測定」「図形」の領域の平均正答率は全国平均を下回る結果となっているものの、「数量関係」の領域では、全国平均をやや上回っている。
- 全国平均を上回った問題数は、「数量関係」の領域で20年度よりも増加している。

領域	数と計算			量と測定			図形			数量関係			合計		
	H21	H20	H19												
宮城県平均正答率 (%)	55.0	64.3	55.0	58.7	51.9	55.7	54.6	59.9	71.0	57.1	43.8	63.6	54.0	50.4	61.4
全国平均正答率 (%)	55.8	65.2	58.9	59.9	53.3	58.0	56.4	61.2	72.5	56.8	44.9	65.5	54.8	51.6	63.6
全国との比較	-0.8	-0.9	-3.9	-1.2	-1.4	-2.3	-1.8	-1.3	-1.5	0.3	-1.1	-1.9	-0.8	-1.2	-2.2
対象設問数	6	3	2	6	3	3	4	4	3	4	7	9	20	17	17
全国平均正答率を上回った問題数	1	2	0	0	0	0	0	0	1	3	2	1	4	4	2
全国平均正答率を下回った問題数	5	1	2	6	3	3	4	4	2	1	5	8	16	13	15

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

数と計算

◇ 買い物の場面で、情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述する問題の正答率は35.4%であり、全国平均を1.5ポイント上回った。[3-(3)]

◆ 「図形」の領域と関連して、図形を見だし、長さを求めるために必要な情報を選択し、求め方を式に表す問題の正答率は48.5%であり、全国平均を2.6ポイント下回った。[1-(1)]

量と測定

◆ 球の重さを調べる実験で、実験結果を基に筋道を立てて考え、当てはまる重さを選択する問題の正答率は43.1%であり、全国平均を2.6ポイント下回った。[2-(2)]

図形

- ◆ 円の半径の求め方について、示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述する問題の正答率は27.9%であり、全国平均を2.5ポイント下回った。
[1-(3)]

数量関係

- ◇ グラフから必要な数量を読み取る問題の正答率は82.9%であり、全国平均を0.9ポイント上回った。[5-(1)]
- ◇ グラフの特徴を基に数量の変化をとらえる問題の正答率は73.8%であり、全国平均を1.0ポイント上回った。[5-(2)]
- ◆ 「数と計算」の領域と関連して、棒グラフから必要な数量を読み取り、数量の差を概数で見積もる問題の正答率は53.6%であり、全国平均を1.2ポイント下回った。[3-(2)]

設問番号	設問の概要	領域				問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		数と計算	量と測定	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1 (1)	壁の高さを階段を使って調べるために必要な情報を選び求める式を書く	○		○			○		48.5	2.2	51.1	2.3	-2.6	-0.1
1 (2)	示された高い場所の長さを直接測らなくても、別の場所の長さを測れば調べることができるわけとして正しい記述を選ぶ			○		○			63.4	1.7	65.1	2.2	-1.7	-0.5
1 (3)	長方形の紙にかかれた6つの円の半径の求め方について、長方形の縦の長さを使った求め方を基に、横の長さを使った求め方を書く			○			○		27.9	6.5	30.4	5.8	-2.5	0.7
2 (1)	上皿てんびんで消しゴムと分銅がつり合っていることを基に、消しゴムの重さを求める	○	○				○		89.9	0.7	90.2	0.8	-0.3	-0.1
2 (2)	3つの実験を基に、黒の球の重さの範囲を書き、その範囲に当てはまる重さを選ぶ			○			○		43.1	6.4	45.7	6.3	-2.6	0.1
3 (1)	目的の時刻までに着くバスの発車予定時刻を時刻表から選び、その時刻を書く			○			○		38.0	7.2	39.8	6.5	-1.8	0.7
3 (2)	船の入港数を表した棒グラフを見て、2005年の船の入港数が、最も多い年と比べて約何隻減少したのか答える	○			○		○		53.6	6.7	54.8	6.2	-1.2	0.5
3 (3)	2種類の品物を買うとき、与えられた条件では、ハンカチを買うともう1種類の品物が買えないわけを書く	○					○		35.4	10.0	33.9	9.2	1.5	0.8
4 (1)	縦4cm、横5cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰める図を2通りかき、必要なカードの枚数を書く		○	○			○		78.6	2.3	79.1	2.5	-0.5	-0.2
4 (2)	縦5cm、横7cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められないと判断するための考えを書く	○	○				○		56.0	19.3	56.1	17.6	-0.1	1.7
4 (3)	縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められない長方形の板を考え、その辺の長さを書く	○	○				○		46.8	9.7	48.8	9.0	-2.0	0.7
5 (1)	4月に集めたペットボトルの重さをグラフから読み取る				○		○		82.9	4.4	82.0	4.8	0.9	-0.4
5 (2)	グラフを見て、集めた空き瓶の重さの変化についての正しい記述を選ぶ				○	○			73.8	4.9	72.8	5.3	1.0	-0.4
5 (3)	4月と6月の全体の重さを基にしたペットボトルの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く				○		○		17.9	7.3	17.7	7.6	0.2	-0.3

5 中学校国語A問題

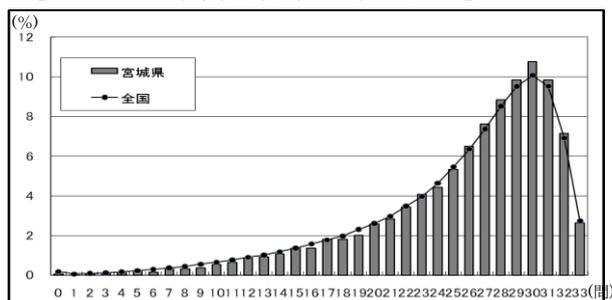
(1) 結果の概要

- 平均正答率が78.1%であり、全国平均を1.1ポイント上回り、全国平均とのかい離が20年度と比べて0.9ポイント大きくなっており、改善が見られる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の4領域すべてにおいて、全国平均を上回り、基礎的・基本的な内容に関する知識・技能について、概ね身に付いていると捉えられる。

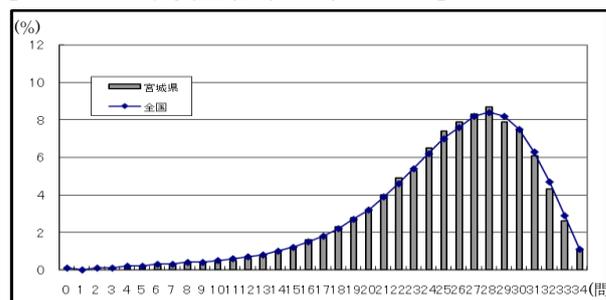
(2) 正答数分布状況

- 今年度の正答数の分布状況は、全国と同様の傾向であり、正答率の高い生徒が増えている。
- 20年度は、80%（27問）以上正答した生徒の割合が、全国より、やや低い状況が見られたが、今年度は、80%（26問）以上正答した生徒の割合は全国に比べてやや高い状況が見られる。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の全ての領域において、全国平均を上回っている。
- 「書くこと」「読むこと」「言語事項」の領域において、全国平均を上回った問題数が20年度より増加している。

領域	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			言語事項			合計		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19
宮城県平均正答率(%)	87.0	80.3	90.3	65.8	55.8	74.1	76.7	71.2	79.9	77.4	75.4	78.2	78.1	73.8	80.8
全国平均正答率(%)	86.8	80.1	90.1	64.6	55.2	73.4	75.7	71.0	80.6	76.0	75.2	80.3	77.0	73.6	81.6
全国との比較	+0.2	+0.2	+0.2	+1.2	+0.6	+0.7	+1.0	+0.2	-0.7	+1.4	+0.2	-2.1	+1.1	+0.2	-0.8
対象設問数	4	5	8	3	2	4	10	9	7	17	18	18	34	34	37
全国平均正答率を上回った問題数	3	4	3	3	2	3	8	6	1	13	11	5	27	23	12
全国平均正答率を下回った問題数	1	1	5	0	0	1	2	3	6	4	7	13	7	11	25

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

話すこと・聞くこと

- ◇ 効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する問題の正答率が88.7%であり、全国平均を0.6ポイント上回った。〔2二〕
- ◆ 効果的なスピーチをするために話し方を工夫する問題の正答率は75.4%であり、全国平均を0.4ポイント下回った。〔2一〕

書くこと

- ◇ 主語に対応させた適切な述語の書き方の問題の正答率が51.8%であり、全国平均を2.0ポイント上回った。〔1一〕

読むこと

- ◇ 古文と現代語訳とを対応させて内容をとらえる問題の正答率が69.8%であり、全国平均を4.8ポイント上回った。〔8五2〕
- ◆ 短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ問題の正答率は26.3%であり、全国平均を2.6ポイント下回った。〔7一〕

言語事項

- ◇ 同音異義語の理解についての問題の正答率が77.6%であり、全国平均を5.2ポイント上回った。〔8三カ〕
- ◆ 文脈に即して漢字を正しく書く問題については設問全て（3問）が全国平均を下回っている。最も書けなかった漢字は、「磁石」で、正答率が80.6%であり、全国平均を3.4ポイント下回った。〔8-1 8-2 8-3〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無 かい 解 答 率 の 離
		聞く 読む 書く	読む 書く	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率 (%)	無 解 答 率 (%)	正答率 (%)	無 解 答 率 (%)		
1一	主語に合わせて述語の部分の正しく書き直す		○			○		51.8	5.0	49.8	5.6	2.0	-0.6
2一	スピーチの工夫の効果として適切なものを選択する	○				○		75.4	0.2	75.8	0.4	-0.4	-0.2
2二	スピーチの特徴の説明として適切なものを選択する	○				○		88.7	0.2	88.1	0.4	0.6	-0.2
3一	物語の展開の順番どおりに出来事を並び替える			○			○	90.0	0.3	89.5	0.5	0.5	-0.2
3二	僕とカムパネルラが知っていることの説明として適切なものを選択する			○			○	85.9	1.0	85.2	1.2	0.7	-0.2
3三	先生の質問に答えなかったカムパネルラが僕のことをどう思っていると考えたかが書かれている部分を本文中から抜き出す			○			○	85.1	9.9	84.1	10.7	1.0	-0.8
4一	先生の話から必要な情報を聞き取り、メモをとる	○					○	92.9	0.6	92.7	0.9	0.2	-0.3
4二	足りない情報を得るための質問として適切なものを選択する	○					○	91.1	0.3	90.9	0.6	0.2	-0.3
5一	提案するとき根拠にする意見として適切なものを選択する		○				○	76.5	0.3	75.2	0.6	1.3	-0.3
5二	提案するときある意見を取り上げて書く理由として適切なものを選択する		○				○	69.1	0.6	68.7	0.9	0.4	-0.3
6一	目次の特徴とそれを使ってできることの説明として適切なものを選択する			○			○	86.3	0.3	85.4	0.6	0.9	-0.3
6二	調べたい事柄が書かれている章を選択する			○			○	81.9	0.3	81.2	0.6	0.7	-0.3
7一	短歌について、言葉のつながりや意味の上から切れめを付けたものとして適切なものを選択する			○			○	26.3	0.4	28.9	0.8	-2.6	-0.4
7二	短歌について書かれた文章の空欄に当てはまるものとして適切なものを選択する			○			○	85.8	0.4	83.6	0.9	2.2	-0.5
7三	短歌の内容について適切なものを選択する			○			○	80.0	0.6	77.9	1.0	2.1	-0.4
8一1	漢字を書く（世界イサンを見学する）				○		○	72.3	8.9	75.2	8.2	-2.9	0.7
8一2	漢字を書く（ジシャクを使って方位を調べる）				○		○	80.6	7.6	84.0	6.3	-3.4	1.3
8一3	漢字を書く（燃料をオギナウ）				○		○	51.7	21.7	53.7	22.6	-2.0	-0.9
8二1	漢字を読む（空気の抵抗がある）				○		○	98.7	0.9	98.2	1.4	0.5	-0.5
8二2	漢字を読む（ピアノで伴奏をする）				○		○	90.6	1.3	88.9	2.0	1.7	-0.7
8二3	漢字を読む（真実に迫る）				○		○	92.3	2.6	91.0	3.5	1.3	-0.9
8三ア	適切な語句を選択する（急いでいるときは、靴をはくのももどかしい）				○		○	53.2	1.0	49.3	1.4	3.9	-0.4
8三イ	適切な語句を選択する（鬼をおいはらうならわしは、今でも続いている）				○		○	73.0	0.6	71.0	0.9	2.0	-0.3
8三ウ	適切な敬語を選択する（お客様、どうぞこの洋服をおめしになってください）				○		○	88.4	0.5	85.9	0.9	2.5	-0.4
8三エ	適切な同音異義語を選択する（調査結果について、報道機関に対して説明する）				○		○	79.1	0.8	74.7	1.1	4.4	-0.3
8三オ	適切な接続詞を選択する（たとえそうであっても）				○		○	93.2	0.8	92.2	1.2	1.0	-0.4
8三カ	適切な同音異義語を選択する（来賓のシュクジは、特に印象に残っている）				○		○	77.6	1.4	72.4	1.8	5.2	-0.4
8四	意味は変えずに、主語を変えて書き換える				○		○	82.4	2.2	82.6	2.9	-0.2	-0.7
8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（むかひて）			○			○	75.6	2.3	75.9	3.6	-0.3	-1.3
8五2	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（よしなしごと）			○			○	69.8	4.7	65.0	6.3	4.8	-1.6
8六	先生の助言を生かして書き直したものを 選択する				○		○	82.2	0.7	77.4	1.1	4.8	-0.4
8七	国語辞典で調べたことをもとに、語句の意味を書く				○		○	67.7	15.6	66.7	16.7	1.0	-1.1
8八	国語辞典の説明から分かることを選択する				○		○	81.3	1.1	79.6	1.6	1.7	-0.5

6 中学校国語B問題

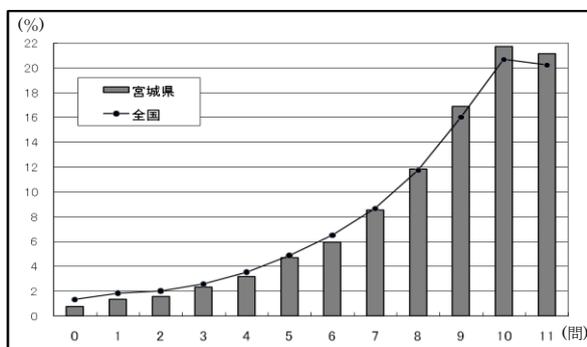
(1) 結果の概要

- 平均正答率が76.4%であり、全国平均を1.9ポイント上回り、全国平均とのかい離が20年度と比べて0.9ポイント大きくなり、改善が見られる。
- 「読むこと」「書くこと」の2領域で、読み取るだけでなく、自分の考えなどを記述する問題での正答率が、全国平均よりも高い状況である。

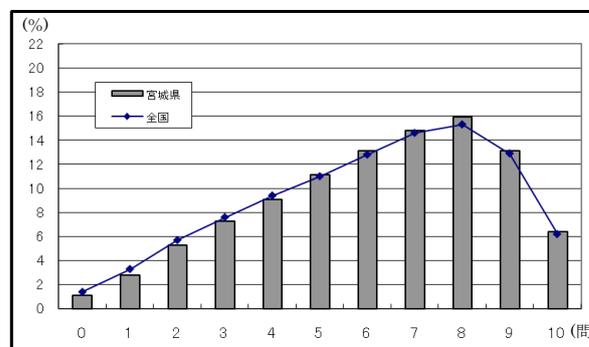
(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国の傾向と同様であるが、20年度と比べて正答率の高い生徒の割合が多くなっている。
- 20年度は80%（8問）以上正答した生徒の割合が全国とほぼ同程度であったが、今年度は80%（9問）以上正答した生徒の割合が全国と比べて多くなっている。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 全ての領域において全国平均を上回り、特に「書くこと」の領域では全国平均を2.5ポイント上回っている。また、全ての設問で、20年度と同様に、全国平均を上回っている。

領域	話すこと・聞くこと			書くこと			読むこと			言語事項			合計		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19
宮城県平均正答率 (%)			81.8	75.0	48.1	63.4	76.4	61.8	69.8		63.1	67.4	76.4	61.8	71.0
全国平均正答率 (%)			81.3	72.5	46.7	64.4	74.5	60.8	70.6		60.5	68.5	74.5	60.8	72.0
全国との比較			+0.5	+2.5	+1.4	-1.0	+1.9	+1.0	-0.8		+2.6	-1.1	+1.9	+1.0	-1.0
対象設問数			1	5	4	3	11	10	9		1	1	16	15	14
全国平均正答率を上回った設問数			1	5	4	0	11	10	1		1	0	16	15	2
全国平均正答率を下回った設問数			0	0	0	3	0	0	8		0	1	0	0	12

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

書くこと

- ◇ 学校生活に即した資料の中の工夫されている点を読み取り、自分の言葉で表現する問題の正答率は62.9%であり、全国平均を3.8ポイント上回った。[1三ア]

読むこと

◇ 資料の図を読み取って、文章のどの部分を補足しているかについて見つけ出し、文章中から抜き出す問題の正答率は65.8%であり、全国平均を1.8ポイント上回った。〔2三〕

設問番号	設問の概要	領域				問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解答率の かい離
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1-アイ	子ども図書館案内図を見て、特定の本を借りるために行くべき場所を選択し、その場所に行く理由を書く		○	○			○		81.9	0.4	79.6	0.9	2.3	-0.5
1-イ	子ども図書館案内図にみられる工夫として当てはまらないものを選択する			○		○			73.5	0.3	72.8	0.6	0.7	-0.3
1-三ア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く		○	○			○		62.9	5.5	59.1	7.1	3.8	-1.6
1-三イ	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の受付カウンターの役割の説明文を書く		○	○			○		77.8	5.6	76.6	6.8	1.2	-1.2
2-一	本文の第一段落の役割について述べたものとして適切なものを選択する			○		○			73.3	0.2	72.1	0.7	1.2	-0.5
2-二	本文の内容を適切にとらえ、発光ダイオードの特徴を箇条書きで三つ以上書く		○	○			○		68.6	11.1	66.4	13.1	2.2	-2.0
2-三	資料の図が、文章のどの部分を補足しているかについて、文章中から抜き出す			○		○			65.8	15.9	64.0	17.8	1.8	-1.9
3-A	表に当てはまる一行を詩の中から抜き出す			○		○			92.5	3.1	91.4	4.6	1.1	-1.5
3-B				○		○			92.2	3.2	90.6	4.6	1.6	-1.4
3-二	ひとまとまりのものとしてとらえた複数の連の内容について適切なものを選択する			○		○			67.4	0.5	65.7	1.2	1.7	-0.7
3-三	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く		○	○			○		83.9	3.4	80.8	4.3	3.1	-0.9

7 中学校数学A問題

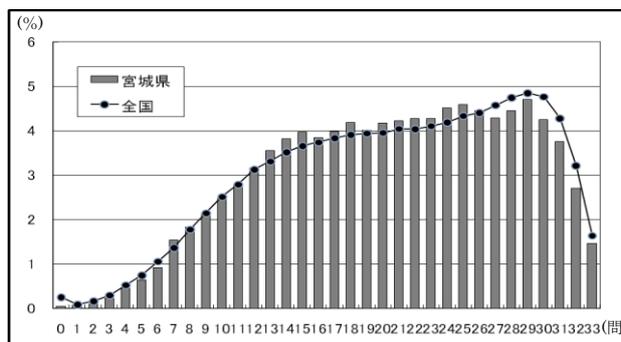
(1) 結果の概要

- 平均正答率が62.1%であり、全国平均を0.6ポイント下回っているものの、全国平均とのかい離は20年度よりも1.1ポイント小さくなっており、やや改善が見られる。
- 「図形」についての基礎的・基本的な知識・技能は概ね身に付いてきているものの、「数と式」のやや複雑な計算処理や、「数量関係」の関数の事象または表から対応の特徴をとらえ式やグラフに表すことについては課題がある。

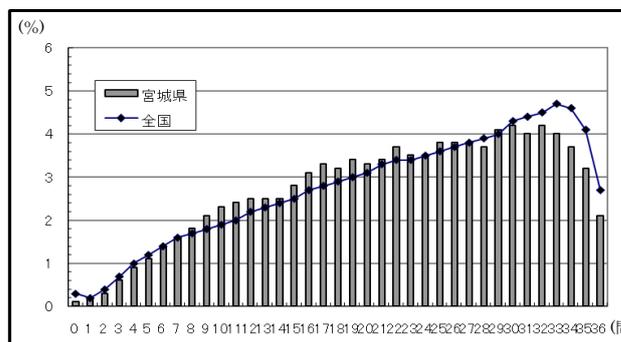
(2) 正答数分布状況

- 20年度は、80%（29問）以上正答した生徒の割合が低く、全国とのかい離が大きかったが、今年度は、80%（26問）以上正答した生徒の割合が全国に比べてやや低いものの、全国とのかい離は小さくなっている。

[平成21年度正答数分布グラフ]



[平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- 「図形」の領域の平均正答率は全国平均をやや上回る結果となっているものの、「数と式」と「数量関係」の領域では、全国平均を下回っている。
- 全国平均を上回った問題数は、「数と式」と「図形」の領域で20年度よりも増加し、全体としても増加している。

領域	数と式			図形			数量関係			合計		
	H21	H20	H19									
宮城県平均正答率(%)	66.0	65.4	72.4	64.8	61.6	73.7	55.7	57.3	64.4	62.1	61.4	70.3
全国平均正答率(%)	67.3	68.0	74.4	64.6	62.7	75.5	56.2	58.6	65.9	62.7	63.1	71.9
全国との比較	-1.3	-2.6	-2.0	+0.2	-1.1	-1.8	-0.5	-1.3	-1.5	-0.6	-1.7	-1.6
対象設問数	11	12	12	11	12	12	11	12	12	33	36	36
全国平均正答率を上回った問題数	4	0	1	5	4	2	5	5	3	14	9	6
全国平均正答率を下回った問題数	7	12	11	6	8	10	6	7	9	19	27	30

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

数と式

- ◇ 比の問題の正答率は90.5%であり、全国平均を1.7ポイント上回った。[1-(1)]
- ◆ 等式を目的に応じて変形する問題の正答率は38.3%であり、全国平均を6.2ポイント下回った。[2-(4)]

図形

- ◇ 2つの三角形が合同であることを判断する際に必要な辺や角の相当関係を指摘する問題の正答率は86.7%であり、全国平均を1.5ポイント上回った。[7-(1)]
- ◆ 作図と線分の垂直二等分線についての問題の正答率は43.3%であり、全国平均を1.1ポイント下回った。[4-(2)]

数量関係

- ◇ 具体的な事象から、 x と y の関係を $y=ax+b$ の式で表す問題の正答率は 57.9% であり、全国平均を 2.3 ポイント上回った。〔11-②〕
- ◆ 2つの数量の反比例の関係を式に表す問題の正答率は 37.9% であり、全国平均を 3.2 ポイント下回った。〔10-②〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無 解 答 率 の かい離
		数と式	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	15:9=5:□	○				○		90.5	1.9	88.8	2.7	1.7	-0.8
1(2)	(-32)と同じ計算を表しているものを選ぶ	○			○			73.4	0.1	75.7	0.4	-2.3	-0.3
1(3)	$2 \times (5-8)$ を計算する	○				○		90.0	1.0	89.5	1.3	0.5	-0.3
2(1)	$3x \times (-4xy)$ を計算する	○				○		87.3	2.5	91.0	2.4	-3.7	0.1
2(2)	n が負の整数のとき、最も大きな数を選ぶ	○			○			65.1	0.2	66.3	0.5	-1.2	-0.3
2(3)	連続する3つの自然数において、文字 n が表すものを選ぶ	○			○			57.0	0.6	55.5	1.0	1.5	-0.4
2(4)	等式 $S=1/2ah$ を、 a について解く	○				○		38.3	19.3	44.5	17.7	-6.2	1.6
3(1)	一元一次方程式を解くとき、等式の性質を選ぶ	○			○			66.3	0.6	68.3	1.0	-2.0	-0.4
3(2)	$3/4x=1/4x-7$ を解く	○				○		49.6	15.9	52.3	15.0	-2.7	0.9
3(3)	一元一次方程式をつくるために、着目する数量を答える	○				○		36.0	17.1	34.9	18.5	1.1	-1.4
3(4)	連立方程式を解く	○				○		72.1	9.9	72.8	10.6	-0.7	-0.7
4(1)	平行四辺形が線対称か点対称か選ぶ		○		○			55.0	0.3	52.8	0.7	2.2	-0.4
4(2)	折り目の線について、正しい作図を選ぶ		○		○			43.3	0.7	44.4	1.1	-1.1	-0.4
5(1)	立方体の展開図において、与えられた面に平行な面を選ぶ		○		○			96.3	0.2	95.4	0.6	0.9	-0.4
5(2)	直角三角形の一边を軸として回転させてできる立体を選ぶ		○		○			86.7	0.2	87.2	0.6	-0.5	-0.4
5(3)	円柱の展開図において、円の周の長さと同長方形の辺の長さの関係について正しいものを選ぶ		○		○			82.3	0.4	82.6	0.8	-0.3	-0.4
5(4)	中心角 60° の扇形の面積について正しいものを選ぶ		○		○			55.9	0.4	56.4	0.9	-0.5	-0.5
6(1)	同位角の位置にあるものを選ぶ		○		○			41.3	0.4	42.4	0.8	-1.1	-0.4
6(2)	多角形の外角の和について正しいものを選ぶ		○		○			66.3	0.6	66.1	1.1	0.2	-0.5
7(1)	三角形の合同の証明に必要な辺や角を書く		○			○		86.7	3.5	85.2	4.5	1.5	-1.0
7(2)	底角が等しいことを記号を用いて表す		○			○		70.7	14.5	69.5	15.5	1.2	-1.0
8	三角形の内角の和が 180° であることの証明について正しいものを選ぶ		○		○			28.1	0.7	28.9	1.2	-0.8	-0.5
9(1)	$y=3x$ について、正しい記述を選ぶ			○	○			51.7	1.4	53.7	1.8	-2.0	-0.4
9(2)	(2, 3)の位置を座標平面上に示す			○		○		74.3	2.6	77.1	3.5	-2.8	-0.9
9(3)	比例の関係を表した表を選ぶ			○	○			70.9	0.6	71.4	1.1	-0.5	-0.5
10(1)	反比例を表した事象を選ぶ			○	○			38.2	1.2	40.2	1.8	-2.0	-0.6
10(2)	反比例の表から式を求める			○		○		37.9	22.1	41.1	21.2	-3.2	0.9
11(1)	傾きと切片の値から、それを表すグラフを選ぶ			○	○			62.7	0.8	60.7	1.3	2.0	-0.5
11(2)	一次関数の事象を式で表す			○		○		57.9	16.8	55.6	18.4	2.3	-1.6
11(3)	一次関数を表すメモの一部から、それを表す式を選ぶ			○	○			53.7	1.4	52.3	1.9	1.4	-0.5
12	$2x+y=6$ の解を座標とする点の集合がどのようになるか選ぶ			○	○			36.8	1.5	35.9	2.0	0.9	-0.5
13(1)	2種類の画びょうのどちらが上向きになりやすいか、実験結果を比べ、正しいものを選ぶ			○	○			73.8	1.2	73.2	1.6	0.6	-0.4
13(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が7になる確率を求める			○		○		54.9	13.7	57.1	14.3	-2.2	-0.6

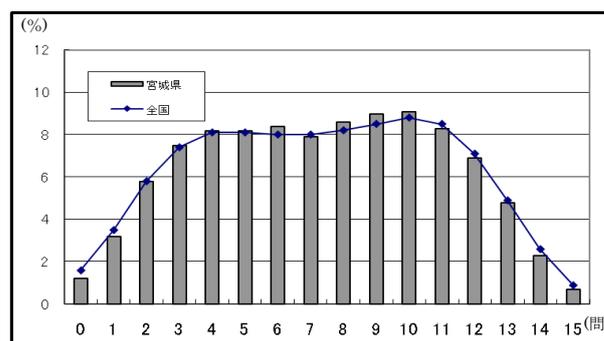
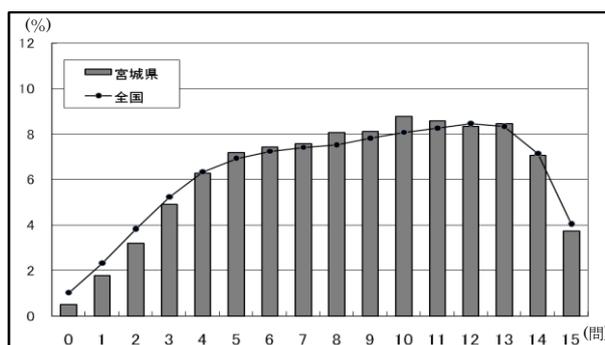
8 中学校数学B問題

(1) 結果の概要

- 平均正答率が57.7%であり、全国平均を0.8ポイント上回っており、全国平均を下回った20年度に比べ、改善が見られる。
- 「図形」において方針に基づいて証明したり振り返って考えたりすることや、「数量関係」において与えられた情報を分類整理することについては身に付いてきているものの、「数量関係」において不確定な事象を実験で確かめることについては課題がある。

(2) 正答数分布状況

- 正答数の分布状況は全国と同様の傾向が見られる。
 - 今年度は、20年度よりも、80%（12問）以上正答した生徒の割合が高くなっている。
- [平成21年度正答数分布グラフ] [平成20年度正答数分布グラフ]



(3) 領域別の平均正答率と上回った問題数・下回った問題数

- すべての領域の平均正答率が、全国平均を上回る結果となっている。
- 全国平均を上回った問題数は、「数と式」と「図形」の領域で20年度よりも増加し、全体としても増加している。

領域	数と式			図形			数量関係			合計		
	H21	H20	H19									
宮城県平均正答率(%)	61.6	53.8	45.5	58.8	59.2	54.0	54.7	44.2	67.0	57.7	49.1	59.4
全国平均正答率(%)	61.4	54.2	48.2	57.5	57.6	53.1	54.1	44.7	67.9	56.9	49.2	60.6
全国との比較	+0.2	-0.4	-2.7	+1.3	+1.6	-0.9	+0.6	-0.5	-0.9	+0.8	-0.1	-1.2
対象設問数	3	3	5	6	3	2	6	9	10	15	15	17
全国平均正答率を上回った問題数	2	1	0	5	3	2	4	5	6	11	9	8
全国平均正答率を下回った問題数	1	2	5	1	0	0	2	4	4	4	6	9

(4) 設問別調査結果

- 全国とのかい離が大きい設問等 (◇: かい離がプラス, ◆: かい離がマイナス, [] 内の記号は設問番号)

数と式

- ◇ 規則に従って自然数を並べる場面において、考察の対象を明確にとらえる問題の正答率は86.7%であり、全国平均を1.1ポイント上回った。[2-(1)]
- ◆ 説明を振り返って考え、式から読み取れる性質を選ぶ問題の正答率は57.3%であり、全国平均を0.6ポイント下回った。[2-(3)]

図形

- ◇ 証明を振り返って考え、証明で導かれたこと以外にさらに分かることを選ぶ問題の正答率は66.6%であり、全国平均を3.3ポイント上回った。[4-(2)]
- ◆ 証明の方針を立て、証明に必要な条件を選ぶ問題の正答率は55.1%であり、全国平均を0.2ポイント下回った。[4-(3)]

数量関係

- ◇ 与えられた情報を分類整理して確率を求める問題の正答率は82.7%であり、全国平均を3.0ポイント上回った。〔5-(1)〕
- ◆ 不確定な事象についての予想を実験で確かめるための方法を考える問題の正答率は、45.5%であり、全国平均を2.0ポイント下回った。〔5-(3)〕

設問番号	設問の概要	領域			問題形式			宮城県		全国		正答率の かい離	無解率の かい離
		数と式	図形	数量関係	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	「紋切り遊び」で1回折りのできる模様として、正しいものを選ぶ		○		○			87.1	0.1	85.3	0.4	1.8	-0.3
1(2)	「紋切り遊び」のできる模様だけにみられる図形の性質を説明する		○				○	46.4	1.8	46.2	2.3	0.2	-0.5
1(3)	「紋切り遊び」で3回折りのできる模様として、正しいものを選ぶ		○		○			55.0	0.4	53.7	0.9	1.3	-0.5
2(1)	1段目の連続する3つの自然数が21, 22, 23のとき、3段目に入る数を求める	○				○		86.7	3.5	85.6	4.9	1.1	-1.4
2(2)	1段目に連続する3つの自然数を入れたとき、3段目の数が4の倍数になることを説明する	○					○	40.8	17.0	40.6	17.8	0.2	-0.8
2(3)	2段目の2つの数 $2m+1$, $2m+3$ について、式から読み取れる性質を選ぶ	○			○			57.3	1.1	57.9	1.5	-0.6	-0.4
3(1)	白熱電球を1000時間使用したときの総費用を求める			○		○		61.6	5.5	60.5	7.1	1.1	-1.6
3(2)	蛍光灯の使用時間と総費用の関係を表すグラフ上にある点のy座標が表すものとして正しいものを選ぶ			○	○			62.6	0.6	61.7	1.2	0.9	-0.6
3(3)	蛍光灯と白熱電球の総費用について、2つの総費用が等しくなるおよその時間を求める方法を説明する			○		○		19.0	48.5	19.1	49.7	-0.1	-1.2
4(1)	2つの線分が平行になることを、三角形の合同を利用して証明する		○				○	42.9	16.8	41.0	21.2	1.9	-4.4
4(2)	証明で用いた三角形の合同を根拠として、証明したことと仮定以外に分かることを選ぶ		○		○			66.6	0.9	63.3	1.5	3.3	-0.6
4(3)	2つの線分が平行になることを証明する際に、平行四辺形に着目し、平行四辺形になるための条件を選ぶ		○			○		55.1	0.7	55.3	1.3	-0.2	-0.6
5(1)	「箱を変更しない」と決めてゲームを行う場合、3つの箱から1つの箱を選ぶとき、それが当たりの箱である確率を求める			○		○		82.7	7.7	79.7	10.3	3.0	-2.6
5(2)	「箱を変更する」と決めてゲームを行う場合、最初に選んだ箱がはずれだとすると、箱を変更すれば必ず当たる理由を説明する			○			○	56.8	20.4	56.2	23.1	0.6	-2.7
5(3)	「箱を変更する」と決めてゲームを行う方が当たりやすいという予想を確かめる実験方法として、最も適切なものを選ぶ			○	○			45.5	1.0	47.5	1.7	-2.0	-0.7

Ⅲ 児童生徒質問紙調査結果

※表の（ ）内は全国との比較

1 結果の概要

- 宮城県の小・中学生は、はやね・早起き・朝ごはんや規則正しく生活することなど、基本的な生活習慣に関する質問に対しては、全国に比べて肯定的な回答をしているものが多いものの、長時間テレビを見たりテレビゲームをしたりする子どもの割合は、全国値よりも高い。
- 小・中学生ともに、家庭で予習・復習をしている割合は全国値より高いが、家庭における学習時間は1時間以上で見ると全国値よりも低い。

2 学習に対する関心・意欲・態度

- 授業の内容がよく分かるかという質問に対し、小学生では国語、算数ともに8割を超える児童が分かるかと答えており、全国値より高い割合となっている。一方、中学生では、国語に関しては分かる生徒が7割を超え、全国値より高いが、数学に関しては6割程度で、全国値より低い。
- 中学生では、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるよう気をつけて書いているかなど、国語学習への取組を問う質問に対して、肯定的に答えている生徒の割合が全国値より高い。
- 算数・数学の問題が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える小・中学生の割合は20年度より増加し、全国値より高い。また、数学の言葉や式で訳や求め方を書く問題に最後まで書く努力をしたと答えた生徒の割合も全国値より高い。

	質問事項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.1 (+0.1)	77.6 (-0.4)	78.7 (+0.7)	70.1 (+1.3)	69.6 (+2.8)	67.5 (+2.1)
2	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.2 (+1.0)	79.2 (+0.8)	77.9 (+0.8)	62.4 (-2.5)	64.5 (-1.0)	61.5 (-2.1)
3	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。	66.7 (+0.5)	67.2 (+0.1)		58.6 (+3.5)	61.4 (+5.9)	
4	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごと内容に理解しながら読んでいますか	70.6 (-0.2)	71.7 (-0.2)		63.3 (+2.6)	65.6 (+4.1)	
5	算数・数学の問題が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	77.6 (+0.8)	76.2 (+0.2)	75.0 (+0.3)	64.9 (+0.1)	64.7 (+1.1)	63.6 (+0.6)
6	言葉や式で訳や求め方を書く問題に、どのように解答しましたか(最後まで書く努力をした)	66.4 (-1.6)	65.9 (-1.1)		48.4 (+0.4)	42.2 (-0.5)	

3 基本的な生活習慣、家庭でのコミュニケーション

- 朝食を毎日食べる小・中学生は、20年度と同様の高い割合であり、全国値よりも高い。
- 学校での出来事を話したり、手伝いをしたりなどの家庭でのコミュニケーションについては、小・中学生ともにその割合が増加しており、全国値よりも高い。また、地域行事への参加の割合も高く、地域とのコミュニケーションも大切にしている。

	質問事項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか (小：午後10時前 中：午後11時前)	51.1 (+7.8)	48.4 (+7.0)	49.4 (+7.3)	34.3 (+2.5)	32.4 (+3.0)	33.8 (+4.0)
2	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか (午前6時30分より前)	39.8 (+3.5)	38.0 (+2.5)	37.9 (+3.5)	29.9 (-3.4)	29.2 (-3.5)	29.2 (-2.5)
3	朝食を毎日食べていますか	96.6 (+0.6)	96.3 (+0.9)	96.2 (+1.0)	94.0 (+1.6)	93.6 (+1.7)	93.3 (+1.7)
4	家の人と学校での出来事について話をしていますか	71.0 (+0.1)	70.9 (+1.7)	70.0 (+1.6)	61.1 (+1.3)	60.0 (+2.1)	60.0 (+2.2)
5	家の手伝いをしていますか	82.0 (+3.5)	81.0 (+3.5)	81.1 (+2.7)	68.3 (+5.3)	65.9 (+5.3)	67.9 (+4.6)
6	今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.0 (+10.6)	71.6 (+11.7)	72.6 (+10.6)	40.9 (+3.1)	39.8 (+2.8)	39.7 (+2.2)

4 学習時間等

- 家庭で、自分で計画を立てて、予習・復習をしている小・中学生は、20年度よりも増加し、全国値よりも高い。
- 家庭で1時間以上学習すると答えた児童生徒の割合は、小学生では20年度より増加したが、全国値より低く、中学生では20年度より減少し全国値より低く、その差が大きくなっている。
- テレビやビデオ・DVDを3時間以上見たり、聞いたりする小・中学生の割合は、20年度よりわずかに減少したが、依然として全国値よりも高い。
- テレビゲームで3時間以上遊んでいる児童生徒も全国値をやや上回る。
- 携帯電話で通話やメールを毎日もしくは時々していると答えた児童生徒の割合は全国値よりは低いが、小学生で2割、中学生では5割を超えている。
- 学習塾等に通っている児童生徒の割合は全国値より低いが、小学生で4割、中学生では5割を超えている。

	質問事項	小学校(%)			中学校(%)			
		H21	H20	H19	H21	H20	H19	
1	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	55.5 (+0.8)	51.5 (-0.5)		40.1 (+2.2)	35.8 (+1.6)		
2	家で、学校の授業の予習をしていますか	42.6 (+5.1)	39.1 (+3.7)	36.6 (+3.7)	42.1 (+12.6)	41.0 (+12.6)	39.3 (+9.8)	
3	家で学校の授業の復習をしていますか	54.9 (+8.9)	50.8 (+7.4)	45.8 (+5.7)	49.7 (+9.2)	48.4 (+8.8)	45.8 (+6.6)	
4	学校の授業時間以外に、平日どれくらい勉強しますか(塾を含む)	30分以上	86.1 (+2.5)	83.5 (+1.1)	83.5 (-0.4)	81.7 (-0.2)	81.4 (-0.7)	78.6 (-2.6)
		1時間以上	56.9 (-0.3)	52.9 (-3.2)	53.8 (-4.1)	62.2 (-3.1)	63.1 (-2.3)	59.9 (-5.1)
		2時間以上	19.7 (-6.0)	18.8 (-6.7)	18.3 (-7.2)	29.1 (-6.6)	29.8 (-5.9)	27.4 (-8.0)
5	土曜日や日曜日など休みの日にどれくらい勉強しますか(小:2時間以上,中:3時間以上)	17.9 (-4.9)	16.3 (-6.4)	15.4 (-7.6)	13.5 (-1.9)	13.6 (-1.5)	11.8 (-3.1)	
6	普段1日当たり、どれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか(3時間以上)	51.1 (+5.4)	51.7 (+5.6)	38.0 (+3.7)	40.4 (+2.4)	43.0 (+3.4)	35.9 (+2.8)	
7	普段1日当たり、どれくらいの時間テレビゲームをしますか(3時間以上)	13.0 (+1.4)	14.0 (+2.1)	9.8 (+0.9)	10.5 (+0.1)	10.4 (-0.1)	10.5 (-0.2)	
8	携帯電話で通話やメールをしていますか(毎日,時々)	20.5 (-3.2)	21.0 (-4.3)	17.5 (-4.8)	50.9 (-3.7)	55.4 (-1.7)	53.1 (-1.9)	
9	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	40.6 (-6.8)	41.2 (-7.0)	37.3 (-7.4)	56.2 (-6.8)	57.8 (-5.8)	52.6 (-6.9)	

5 自尊意識・規範意識

- 自己肯定感や達成感を感じたことがある、将来に夢や目標を持っていると答えた割合は、小学生は全国値よりも低いが増加傾向にあり、中学生はわずかであるが全国値より高い。
- 規範意識に関する質問に対し、肯定的な解答をした児童生徒の割合はほぼ全国と同様である。

	質問事項	小学校(%)			中学校(%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	自分には、よいところがあると思う	72.9 (-1.7)	71.4 (-2.0)	68.6 (-2.9)	61.6 (+0.4)	61.8 (+1.0)	59.8 (-0.7)
2	ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	93.8 (0.0)	93.2 (-0.3)	93.2 (+0.1)	92.9 (+1.0)	92.9 (+1.0)	92.4 (+0.4)
3	将来の夢や目標を持っていますか	85.6 (-0.7)	84.0 (-0.7)	83.6 (-0.1)	71.3 (+0.3)	72.0 (+1.3)	72.2 (+1.5)
4	学校のきまりを守っていますか	87.6 (-0.9)	85.7 (-0.6)	85.2 (-1.0)	89.3 (+0.7)	88.0 (+0.6)	86.0 (+0.3)
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	95.1 (+0.2)	95.0 (+0.3)	94.7 (0.0)	90.7 (+0.4)	89.8 (+0.3)	87.8 (-0.1)
6	人の役に立つ人間になりたいと思う	91.8 (-0.7)	92.0 (-0.4)	91.4 (-0.5)	90.4 (0.0)	90.6 (+0.1)	89.4 (-0.2)

IV 学校質問紙調査結果

※ 表の（ ）内は全国との比較

1 結果の概要

- 「指導計画や学力向上に向けた取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にした」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高く、20年度と比べ中学校での増加が大きい。
- 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに20年度よりも増加しており、中学校が全国値よりも高い。
- 国語の指導において、「書く習慣や読む習慣を付ける指導」に取り組んでいる学校の割合は、小学校では20年度よりも減少し、中学校では増加しており全国値よりも高い。

2 学力・学習状況の活用

- 指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にした割合は、小・中学校ともに全国値よりも高く、20年度と比べ中学校での増加が大きい。
- 小・中学校ともに、平成20年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、指導の改善に活用したり、対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用したりしている割合が全国値よりも高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	指導計画や学力向上への取組を検討するにあたり、調査結果等を参考にしましたか	86.7 (+2.1)	85.8 (+4.0)		90.0 (+9.2)	84.5 (+5.6)	
2	全国学力・学習状況調査の結果を分析し、教育指導の改善に活用しましたか	97.3 (+4.4)	94.8 (+6.7)		94.5 (+5.8)	95.5 (+12.6)	
3	全国学力・学習状況調査の自校の結果を学校全体で活用しましたか	89.9 (+6.4)	90.8 (+13.4)		89.1 (+10.4)	89.1 (+17.7)	

3 国語、算数・数学の指導

- 国語の指導として、書く習慣や様々な文章を読む習慣を付ける授業を行った割合は、小学校では20年度よりも減少し、中学校では増加しており全国値よりも高い。
- 算数・数学の指導において、補充的及び発展的な指導に取り組んだ学校の割合は、小・中学校ともに全国値よりも高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか	88.3 (-0.8)	90.1 (+2.7)	82.2 (-1.2)	95.0 (+4.1)	89.5 (-0.3)	85.8 (-1.9)
2	国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	85.5 (+2.2)	87.4 (+4.5)	82.6 (+2.3)	85.9 (+3.2)	81.4 (-1.7)	84.4 (+2.3)
3	算数・数学の指導として、補充的な学習の指導を行いましたか	88.5 (+1.8)	93.1 (+3.1)	88.8 (+1.0)	88.2 (+2.1)	91.8 (+3.0)	91.2 (+4.5)
4	算数・数学の指導として、発展的な学習の指導を行いましたか	55.4 (+0.9)	59.2 (+1.4)	56.4 (-1.9)	60.0 (+4.5)	55.9 (-3.2)	55.1 (-4.6)

4 個に応じた指導

- 算数・数学の指導において習熟の程度に応じて少人数による指導を行っている割合は、20年度と比べて中学校で減少しているが全国値よりも高く、小学校は全国値よりも低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	習熟の遅いグループに対して少人数による指導をしましたか	37.4 (-2.3)	33.6 (-6.9)		37.3 (+3.4)	42.7 (+6.0)	
2	習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導をしましたか	26.9 (-5.3)	27.5 (-6.2)		32.7 (+3.1)	39.6 (+7.1)	

5 学習環境づくりに向けた取組

- 小・中学校ともに放課後を利用した補充的な学習サポートを実施した割合は20年度と比べ増加しており、特に小学校は全国値よりも高い。
- 小・中学校ともに長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施した割合は、全国値よりも低い。
- 小・中学校ともに学校図書館を活用した授業を計画的に行った割合は、20年度と比べて増加しているが、全国値よりも低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	76.9 (+16.0)	58.6 (+16.7)	61.0 (+20.1)	86.1 (+3.0)	63.6 (+6.4)	61.8 (+6.4)
2	長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	46.6 (-10.4)	43.0 (-7.0)	41.2 (-6.6)	68.7 (-11.6)	70.0 (-7.0)	68.9 (-6.1)
3	「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	98.7 (+0.8)	95.0 (+1.8)	93.2 (+1.2)	93.2 (+1.8)	89.5 (+3.1)	88.9 (+4.3)
4	学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	72.6 (-5.2)	63.5 (-3.8)	56.4 (-3.5)	41.3 (-6.3)	28.6 (-11.1)	36.0 (-2.3)

6 家庭学習・家庭との連携

- 国語、算数・数学の指導として、保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行った割合は、20年度と比べて中学校で増加しており、小・中学校ともに全国値よりも高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	国語の指導として、保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行いましたか	97.3 (+4.3)	97.3 (+6.7)		75.9 (+6.1)	67.3 (+0.7)	
2	算数・数学の指導として、保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すよう働きかけを行いましたか	97.1 (+4.7)	96.8 (+6.4)		73.6 (+3.5)	71.4 (+4.5)	
3	国語の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えましたか	99.3 (+0.3)	99.6 (+0.9)	98.4 (+1.3)	89.1 (+2.1)	85.5 (-1.0)	78.6 (-5.4)
4	算数・数学の指導として、家庭学習（宿題）の課題を与えましたか	99.1 (+0.1)	99.6 (+0.8)	98.7 (+1.2)	92.3 (+1.8)	94.1 (+3.7)	87.6 (-1.0)

7 教員研修

- 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている割合は、小・中学校ともに20年度と比べてやや増加傾向にある。中学校は全国値よりも高く、小学校は全国値よりも低い。
- 講師を招聘するなどの校内研修を行っている割合は、小・中学校とも全国値よりも低く、かい離が大きい。
- 授業研究を伴う校内研修を行った割合は、20年度と比べて中学校で増加傾向にあり、小・中学校ともに全国値よりも高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	91.2 (-2.5)	90.7 (-2.0)	88.5 (-2.8)	88.7 (+6.2)	88.2 (+7.0)	84.5 (+6.0)
2	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	73.7 (-18.2)	75.0 (-17.1)	70.1 (-20.9)	66.4 (-16.2)	59.0 (-23.9)	63.6 (-19.5)
3	授業研究を伴う校内研修を前年度、何回実施しましたか（9回以上）	50.0 (+6.4)	50.5 (+4.5)	44.5 (0.0)	30.5 (+4.4)	24.0 (-3.0)	22.7 (-2.9)

8 地域の人材・施設の活用

- 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った割合は、20年度と比べて小学校は減少傾向にあり、全国値よりも低い。
- 小・中学校ともに博物館や科学館、図書館を利用した授業を行った割合は、20年度と比べて減少傾向にあり、中学校は全国値よりも高く、小学校は全国値よりも低い。
- 職場見学や職場体験活動を行っている割合は、中学校は全国値よりも高く、小学校は全国値よりも低い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	70.0 (-4.2)	75.7 (+0.9)	79.3 (+0.9)	56.8 (+0.2)	54.5 (-3.4)	58.2 (-1.4)
2	博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	27.3 (-6.8)	33.1 (-3.4)	31.9 (-6.5)	23.7 (+7.0)	25.9 (+7.7)	30.7 (+10.0)
3	職場見学や職場体験活動を行っていますか	22.5 (-13.7)	25.9 (-8.5)	22.5 (-10.1)	99.1 (+2.0)	97.3 (-0.5)	99.1 (+3.1)

9 開かれた学校

- 地域の人々が自由に授業参観などができる学校公開日を設けている割合は、20年度と比べて中学校で増加しているが、小・中学校ともに全国値よりも低く、かい離が大きい。
- 小学校は6学年を、中学校は3学年を対象とした授業参観を前年度3回以上実施した割合は、20年度と比べて中学校で増加しており、小・中学校ともに全国値よりも高い。

	質 問 事 項	小学校 (%)			中学校 (%)		
		H21	H20	H19	H21	H20	H19
1	地域の人々が自由に授業参観などができる学校公開日を設けていますか	63.3 (-18.6)	64.0 (-17.2)	59.3 (-20.7)	57.3 (-19.9)	50.9 (-26.0)	50.2 (-24.4)
2	小学校は6年生を、中学校では3年生を対象とした授業参観を、前年度どれくらい実施しましたか（3回以上）	96.6 (+2.3)	96.2 (+2.3)	97.6 (+3.2)	81.9 (+6.7)	78.3 (+3.3)	79.6 (+3.8)

V 今後の対策等

1 各教科の指導改善のポイント

教科	種類	指導改善のポイント
小学校 国語	A問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 司会の役割を明確にし、話し合いの目的や場面に応じて内容を整理し、話し合いを収束させたり新たな方向へ展開させたりすることができるように、他教科や特別活動の中での話し合い活動と関連付けて指導する。 ○ 友達に連絡や近況報告をするなど相手や目的に応じて、実際にはがきや手紙を書く場面を設け、はがきの表書きに必要な事柄を正しい順序で書くことができるようにしていく。 ○ 文学的な文章を読み、感想を述べ合い、比喻や反復など、表現の工夫に気付くとともに、表現方法の効果について話し合ったり、活用したりすることができるようにしていく。 ○ 漢字や語句など基礎的・基本的な事項を定着させるための反復練習を徹底させるとともに、点画の数やとめ、はね、はらいなどに注意し、正確に書けるよう指導を充実させる。 ○ ローマ字表記で書かれたものを集めたり、ローマ字で単語や文、文章を作ったりするほか、コンピュータを使った学習などと関連付けて、ローマ字を繰り返し読み書きする機会を増やし、指導を充実させる。 ○ 読み手に対して効果的に伝えるために、文字の形や大きさ、配列などを理解し、正しく整えて書くことができるように、各教科等の学習や日常生活の中で指導を充実させる。
	B問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が経験したことの説明や調査の結果の説明など、様々な対象を説明する機会を増やすとともに、意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明したり、報告したりする言語活動を充実させる。 ○ 記述する前に、必要な事柄のメモを使って収集したり、構成表を用いて整理したりするなど、全体を見通して書く事柄を収集、整理する活動を充実させる。 ○ 調べたことを図解したり、表やグラフを用いたりして自分の考えを効果的に書く活動を取り入れるとともに、文章と図表などの資料とを関係付けて書く言語活動を充実させる。 ○ 表やグラフなどの資料を教材として積極的に取り入れ、文章と資料を関係付けて読み取らせる指導を充実させる。 ○ 筆者の意見やその根拠を読み取らせる指導だけでなく、読み手が筆者の意図や思考を想定しながら文章をどのように構成し表現しているかを把握した上で、自分の考えを明確にしていく指導を充実させる。
小学校 算数	A問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な計算技能を確実に身に付けさせるためには、ドリル学習等をさらに充実させ、継続的に指導していくとともに、単に繰り返すだけではなく、計算の過程を言葉で説明する等の活動を取り入れていく。 ○ 数直線を用いて偶数と奇数の特徴を視覚的にとらえさせ、目盛りの大きさに着目して数を実感的に読み取る等の指導を重視していく。 ○ 身近にあるものの長さや重さを実測する等の体験的な活動を多く取り入れることで、量の大きさについての感覚を身に付けさせていく。 ○ 基本的な平面図形の定義や性質を、図形を折り重ねなどの作業的な学習を取り入れることにより、実感的にとらえさせる。 ○ 資料を分類整理する場合、表に示された数が何を表すのかを言葉で表現し、表を分割して考えていくなどの指導改善を図っていく。
	B問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題場面の情報を整理して図に表したり、何が分かれば解決できるのかを言葉で書き出したりする活動に継続的に取り組ませ、根拠を明らかにして立式をする経験を積ませる。 ○ 面積を求める学習において、辺の長さを示さずに図形を提示し、どの部分の長さが必要かを考えさせ、その長さを知るためにどうしたらよいかを考えたり測定したりする活動の充実を図る。 ○ 学習した図形を身の回りから見いだす活動や、見いだした図形のどの情報を用いれば問題を解決できるかを考える活動の充実を図る。 ○ グラフから読み取ったことを概数で表したり、割合を数直線で表したりするなど、数量関係と他の領域との関連を図った補足的・発展的な学習を充実させる。

中学校 国語	A問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを的確に話したり、情報を的確に聞き取ったりする力を付けさせるために、適切な資料を選択・活用し、順序よく話す指導や、相手の話のメモを取って聞く態度を身に付けさせる指導を重視する。 ○ 自分とは異なる立場の意見と、自分の考えと比較しながら、説得するために効果的な情報を取り上げて書く等、よりよい文章を書く力を身に付けさせる。 ○ 短歌について、「句切れ」について理解させ、言葉のつながりを意識するとともに、短歌の作り方や鑑賞の仕方の基礎を養う指導を重視する。 ○ 新出漢字の理解と定着の指導を徹底するとともに、国語科の日常指導における、ノート指導、作文指導等全ての場面を通して、漢字を正しく書く態度を身に付けさせる指導を重視する。
	B問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活で利用されている多様な資料を教材として用いることで、イラストや図、グラフなどの資料から情報を的確に読み取らせ、活字と関連付けて自分の考えを記述できるよう、書くことの指導を充実する。 ○ 様々な性質の異なる文章を読ませることで、表現の仕方や文章の特徴を理解させ、書かれている内容を的確にとらえることができるよう、「思考」「判断」「表現」を一体化した読むことの指導を充実する。 ○ 実生活の具体的な場面や、学校生活等で実際に生かせるような言語活動を授業の中に積極的に取り入れることで、「書くこと」「読むこと」の指導内容を明確にした授業を展開する。
中学校 数学	A問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 繰り返し計算の指導を行い、その際には、単に繰り返させるだけではなく、計算の意味の理解の指導をあわせて行うようにする。 ○ 図形の特徴を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明する活動を積極的に取り入れ充実させる。 ○ 具体的な事象における二つの数量関係の対応表を活用して、グラフや式に表したり、対応表から数量の変化の関係を見いだしたりするなど、表と式、グラフを関連付けた活動を一層充実させる。 ○ 二元一次方程式の解の集合が直線になることの意味を深める活動や、方程式による表現とそのグラフによる表現を相互に関連付けてとらえる活動を一層重視する。
	B問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習を通して、数について予想した事柄が成り立つ理由を説明するために必要な式をつくり、その式を処理していく過程で表れる式から読み取れることを書いたり説明したりする活動の充実を図る。 ○ 図形について成り立つ事柄を証明する方針を立てる際に、与えられた条件を整理して考え、導きたい結論とそれを導くために着目すべき図形の性質を明らかにして考えさせ、振り返って説明する活動の充実を図る。 ○ 日常生活の中から不確定な事象を含む問題場面を取り上げ、必要な情報を分類整理して予想を立て、同じ条件で比較することや多数回試行するなど、予想を確かめる実験や調査の方法を考える活動を取り入れる。

2 今後の対応

(1) 各方面への周知と各学校の授業改善等の推進

- 調査結果については、各種の教育関係の会議で周知するほか、県教育委員会のホームページに掲載し、広く情報を提供していく。
- 各市町村教育委員会及び各学校においては、調査結果と併せて授業改善等の方策を検討するよう、助言していく。
- 今後、検証改善委員会等において、調査結果をさらに詳細に分析し、市町村教育委員会及び各学校に対し、学習指導の充実が図られるような資料を作成し示していく。

(2) 学力向上関係事業の継続実施

- 調査結果を踏まえ市町村教育委員会と協議するなどの連携を図りながら、教員の教科指導力の向上、児童生徒の学習習慣の形成、教育環境基盤の充実に努め、宮城県の学校教育の最重要課題である児童生徒の学力向上に向けて継続して取り組んでいく。